

つぎの英文を読んで、設問に答えなさい。

Every morning, the sun rises in the east, and every evening, it sets in the west. We can see it slowly move throughout the day, with our shadows long or short, in front or behind, depending on where the sun is. Try the experiment at midday, and see your shadow tuck up under you. <sup>(1)</sup>Nothing could be so obvious, and since it happens every day, if you miss it today you can catch the show tomorrow.

The sun doesn't go around the earth each day, of course. You can understand how difficult <sup>(2)</sup>it would be to convince people that what seems so obvious is not really what is going on. Put it this way: the earth is the centre of *our* universe, because that is where we are when we look at the sun, moon and stars. <sup>(3)</sup>It's our centre, but not *the* centre.

All the stargazers in the ancient world had put the earth at the centre. Remember Aristotle? After him, the most influential Greek astronomer, Ptolemy, built on the careful noting of the position of the

stars night after night, season after season, and year after year.

(4)Looking at the stars on a clear night is a magical experience, and being able to identify the groups, or 'constellations', of stars is great fun. The Plough and Orion's belt are easy to trace across the sky when there are no clouds. From the Plough you can find the North Star, and this helped sailors at night to continue to sail in the right direction.

Aristotle : アリストテレス Ptolemy : プトレマイオス

問1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問2 下線部(2)の it が指している内容を日本語で答えなさい。

問3 下線部(3)はどのようなことを述べているか、本文の内容に即して日本語で説明しなさい。

問4 下線部(4)を日本語に訳しなさい。

解答は各自ノートに記載してください。添削が必要な場合は、授業後行います。

## 英語総合 S 後期 演習② 9/16

### 〈解答〉

問 1.全訳下線部(1)参照。問 2,あまりにも自明に思えることが実際に起こっていることではないと人に納得させること。問 3.地球を宇宙の中心と言うとき,それは地球を天体観測のための便宜的な中心と見なしているのであって,本当の意味での中心であると言っているわけではないということ。問 4.全訳下線部(4)参照。

### 〈和訳〉《天体観測の中心としての地球》

毎朝,太陽は東から昇り,そして毎晩西に沈む。私たちは,私たちの影が太陽の位置次第で長くなったり短くなったり,前に見えたり後に来たりすることで,太陽が日中を通してゆっくりと動いていることがわかる。真昼に実験してみると,影が足下ですぼまるのが見える。

(1)これほど明白なことはないし,それは毎日起きることなので,今日は見逃したとしても,明日はそのショーを目にすることができる。

もちろん太陽が毎日地球を一周しているのではない。あまりにも自明に思えることが実際に起こっていることではないと人に納得させることがどれほど難しいかは誰にでも理解できるだろう。これを次のように表現してみよう。「私たちの」宇宙の中心は地球である,なぜなら私たちが太陽や月や星を見るときに私たちがいる場所が地球だから,と。それは私たちの中心であって,「真の」中心ではない。

古代糧界の天体観測者たちはみんな地球を中心に据えていた。アリストテレスを覚えているだろうか。彼より後の時代で最も影響力のあったギリシャの天文学者はプトレマイオスだが,彼は毎晩,季節ごとに,来る年も来る年も,星々の位置を注意深く記録することを重ねていった。(4)晴れた夜に星を見ることはすばらしい経験だ。また星の集まり,すなわち「星座」を特定できるととても楽しい。北斗七星やオリオン座の3つ星は,雲がでていない空には見つけやすい。北斗七星からすぐに北極星が見つかるだろう。船乗りたちは夜,正しい方角へ航海を続けるのにこの星を役立てたのだ。

### 〈解説〉

問 1、obvious「明白な,すぐわかる」三 t は太陽の移動に合わせた影の動きを指示し,the showはその影の動きというショーのこと。catch「～(時間に間に合って映画・番組など)が見られる」問 2.この it は形式主語。それが指示するのは to convince 以下の不定詞句。この部分を訳せばよい。go on「(事が)起こる」問 3.our centre と the centre の対比を,前文の内容を取り入れながら示せばよい。主語の It はもちろん「地球」を指す。イタリック体の the は「真の,本当の」というニュアンスを表している。問 4.前半は動名詞主語の文。clear「晴れた,雲のない」後半のポイントは the group for `constellations', of stars という箇所。A, or B は「A,言い換えれば〔また別の表現では〕 B」という意味。また of stars は the groups を修飾するように訳す必要がある。constellation「星座」